



小島友実の あの馬の STORY



2023年10月29日・新潟 初勝利のウイナーズサークル

ニュージェネラル

今回の主役は武英智厩舎に所属しているニュージェネラル。デビュー戦目には阪神ジュベナイルフィリーズに出走。ロンジを組んだ田口貴太騎手がGレース初騎乗だったことに加えて、このレース当日は田口騎手の誕生日だったことも話題になりました。

ニュージェネラルは以前グリーンファームに所属し、障害戦を含め5勝の活躍を見せたジャンポールナイトの妹。ニュージェネラルを管理する武調教師は1歳から2歳にかけての成長過程をよく振り返ります。

「最初の頃は体高が低くて、丸っこい感じだったのですが、牧場へ見に行くたびにシャープになって、良い雰囲気になっていきましたね」

デビュー戦は10月29日に新潟競馬場で行われた芝1400m戦。スタートして2番手を進むと、直線ではしっかりと脚を伸ばして見事、初戦勝ちを決めました。「血統的にはタート向きですが、少し力なところもありましたから、芝の方が力を発揮しやすいと思えて、新潟芝でデビューしました。スタート後、2歩目からは早かったですし、内枠がゆつくと進みましたね。雨が降る中での不良馬場をしっかり走り切ってくれました。血統的に道悪はプラスになるかなと感じていたんで、イメージ通りのレースでしたね。ただ、調教ではしっかりと動いているけれど、まだ少し物足りない部分があったので、本当に素質だけで勝負したという印象でした」

そして、2戦目は中京のつむぎ賞や阪神のタート2000m戦に向かうプランもあったものの、前述の通り阪神ジュベ

ナイルFに出走しました。

「Gレースですが、キャリアが浅い馬たちの争いとなりますから、可能性があるなら挑戦したいと考えました。すでに賞金を持っている馬は早めに騎手が決まっていたので、勢いがあつた活躍が目立つ田口騎手へ依頼。調教にも乗ってもらいました。レース前は、『しっかりと流れに乗ってほしい』と伝えました」

その阪神ジュベナイルFのレースぶりを見ていくのでしようか。

「スタートで少し出遅れてしまい、後方で流れに乗れず、思うようなレースができませんでした。結果は残念でしたが、17着、まだキャリア2戦目でしたし、強い馬と戦わないと、馬は強くなることができませんからね。時計が速い馬場は初めてでしたし、この馬なりに頑張っていました。この経験は今後、生きてほしいと思います」

2戦目の後は大きな疲れがなかったことから、12月23日の中山タート2000m戦に向かいました。

「血統的にタートも含むので、適性を見てみたいと思つて、タート戦に出走しました。キックバックを気にせず走っていました。結果として2000mという距離が忙しかつたのかなという印象です（結果は13着。寒い時期で冬毛が出てきていました）。そこで一息入れたいと思つていました。1つ勝つていきますから、成長を待つて次のレースを検討したいと思つています」

このレースの後はキャノンファーム土山へ放牧。一息入れられることになりました。改めて、デビューからの戦目までの印象を武調教師に聞いてみました。

「調教でしっかりと動く馬と比べると、多少物足りない部分がある感じのつむぎでデビュー勝ち。そして2戦目や3戦目の時の毛ツヤを見ても、まだまだこれからの馬だと感じさせます。馬体がもう少ししっかりと伸びれば、体はもう少し良くなるのではないと思つてます」

そしてニュージェネラルに対して、武調教師が一番評価しているのが精神面だということです。

「今、精神面で心配するところはないですね。普段、乗っけても注文がつかないタイプではないですね。年齢的にまだ若い面はあるものの、従順ですごくお利口さんです。馬房でも扱いやすいタイプですし、飼料もしっかりと食べます」

今後について聞いてみました。

「まだ読めない部分がありますが、現状では芝の1400m〜1600mがベストなのかなという印象です。ただ4戦目を含めて今後、どの条件を走るかは馬の状態を見てから決めていくことになると思います。馬がしっかりと走ってくれたら、あと1〜2回ほどは勝つてくれるのではないかと期待しています。成長途上の段階で新馬勝ちしてくれた馬ですから、奥がありそうですね。全員の皆様には楽しみにしていただけらなうと思つきます」

ニュージェネラルはまだ明け3歳馬。牝馬ですから、気持ちの面で心配する面がないというのも大きいですよね。今後、一歩ずつ階段を上げていき、どんな変化を見せてくれるのでしょうか。ニュージェネラルの走りについて期待したいですね。

（電話取材：12月27日）

profile

競馬キャスター&ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマホアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（主婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。